

令和3年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



令和2年10月12日

上場会社名 前澤工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6489 URL http://www.maezawa.co.jp  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松原 正  
 問合せ先責任者(役職名) 管理本部経理部長 (氏名) 吉田 純 (TEL) 048-251-5511  
 四半期報告書提出予定日 令和2年10月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和3年5月期第1四半期の連結業績(令和2年6月1日~令和2年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
3年5月期第1四半期	4,412	2.5	△512	—	△471	—	△443	—
2年5月期第1四半期	4,305	19.6	△413	—	△380	—	△347	—

(注) 包括利益 3年5月期第1四半期 △439百万円(—%) 2年5月期第1四半期 △303百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
3年5月期第1四半期	△23.40	—
2年5月期第1四半期	△18.35	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
3年5月期第1四半期	30,424	17,983	59.1
2年5月期	33,370	18,574	55.7

(参考) 自己資本 3年5月期第1四半期 17,983百万円 2年5月期 18,574百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2年5月期	—	6.00	—	8.00	14.00
3年5月期	—	—	—	—	—
3年5月期(予想)	—	7.00	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和3年5月期の連結業績予想(令和2年6月1日~令和3年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	31,000	3.5	1,700	△4.4	1,800	△5.3	1,100	2.3

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

3年5月期1Q	21,425,548株	2年5月期	21,425,548株
3年5月期1Q	2,462,602株	2年5月期	2,462,490株
3年5月期1Q	18,963,043株	2年5月期1Q	18,963,176株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済状況は、新型コロナウイルス感染症の影響による企業収益の大幅な減少等、依然として厳しい状況にあります。個人消費や輸出に持ち直しの動きがみられています。また、各種政策の効果や海外経済の改善もあり、持ち直しの動きが続くことが期待されますが、感染症が内外経済に与える影響や金融資本市場の変動に十分留意する必要があります。先行きの不透明さを抱えての推移となりました。

当社グループを取り巻く事業環境は、公共投資は堅調に推移しているものの、企業間競争の激化や、原材料費および人件費等の高騰により、非常に厳しい環境が続きました。

一方で、高度成長期に整備された施設・設備の老朽化に伴う更新や地震などの自然災害、エネルギー問題への対応など、新たなニーズも高まってきております。

このような状況のもとで当社グループは、持続的な成長をめざすために、「Be a Challenger 2020」をスローガンとした中期3ヵ年経営計画（2018年度～2020年度）を策定し、長年にわたり実績を積み上げてきた技術・製品による新市場の開拓やイノベーションによる事業の拡大、更新対応・省エネルギーなど顧客ニーズを捉えた技術・システムの開発・改良・提案により、受注の確保、拡大を図るとともに、グループ一丸となった生産性向上による業務の迅速化や原価低減等により、経営基盤の強化を図ってまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、受注高は9,264百万円（前年同期比2.5%減）、売上高は4,412百万円（前年同期比2.5%増）となりました。損益につきましては、経常損失は471百万円（前年同期380百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は443百万円（前年同期347百万円の損失）となりました。

なお、当社グループの事業の特徴として、受注した装置類の納期等が3月末に集中することから、売上および利益計上が第4四半期に集中する傾向にあります。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ①環境事業

環境事業につきましては、厳しい事業環境が続き、受注高は2,117百万円（前期比41.6%減）、売上高は1,824百万円（前期比13.6%減）、セグメント損失は332百万円（前年同期125百万円の損失）となりました。

#### ②バルブ事業

バルブ事業につきましては、厳しい事業環境が続きましたが、受注高は3,311百万円（前期比30.8%増）、売上高は1,709百万円（前期比10.9%増）、セグメント損失は1百万円（前年同期69百万円の損失）となりました。

#### ③メンテナンス事業

メンテナンス事業につきましては、厳しい事業環境が続きましたが、受注高は3,835百万円（前期比14.7%増）、売上高は879百万円（前期比34.8%増）、セグメント損失は180百万円（前年同期217百万円の損失）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は30,424百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,945百万円減少しました。主な変動項目としましては、受取手形及び売掛金が2,137百万円、電子記録債権が1,087百万円減少しており、商品及び製品が536百万円、仕掛品が385百万円増加しております。

負債合計は12,441百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,354百万円減少しました。主な変動項目としましては、前受金が883百万円増加しており、支払手形及び買掛金が944百万円、電子記録債務が896百万円、未払法人税等が483百万円減少しております。

純資産合計は17,983百万円となり、前連結会計年度末に比べ591百万円減少しました。主な変動項目としましては、利益剰余金が595百万円減少しております。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和3年5月期の通期業績予想につきましては、令和2年7月14日に「令和2年5月期決算短信」で公表しました業績予想に変更ありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和2年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和2年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,536	6,451
受取手形及び売掛金	6,050	3,912
電子記録債権	3,555	2,468
商品及び製品	2,528	3,065
仕掛品	2,104	2,489
原材料及び貯蔵品	1,233	1,306
その他	377	752
貸倒引当金	△3	△1
流動資産合計	23,382	20,444
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,991	1,963
機械装置及び運搬具（純額）	941	934
工具、器具及び備品（純額）	476	479
土地	3,613	3,613
建設仮勘定	0	—
有形固定資産合計	7,023	6,992
無形固定資産	47	44
投資その他の資産		
その他	2,927	2,954
貸倒引当金	△11	△11
投資その他の資産合計	2,916	2,943
固定資産合計	9,987	9,980
資産合計	33,370	30,424

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和2年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和2年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,986	2,042
電子記録債務	3,649	2,752
1年内償還予定の社債	244	194
1年内返済予定の長期借入金	593	593
リース債務	13	14
未払金	672	390
未払賞与	806	—
未払法人税等	515	31
前受金	1,647	2,530
賞与引当金	—	192
役員賞与引当金	68	—
工事損失引当金	33	4
完成工事補償引当金	39	39
その他	260	485
流動負債合計	11,530	9,271
固定負債		
社債	380	380
長期借入金	1,711	1,631
リース債務	23	31
繰延税金負債	43	30
完成工事補償引当金	120	120
退職給付に係る負債	944	939
長期末払金	41	36
固定負債合計	3,265	3,169
負債合計	14,795	12,441
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,233	5,233
資本剰余金	4,801	4,801
利益剰余金	8,832	8,236
自己株式	△802	△802
株主資本合計	18,065	17,469
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	509	514
その他の包括利益累計額合計	509	514
純資産合計	18,574	17,983
負債純資産合計	33,370	30,424

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和元年6月1日 至 令和元年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和2年6月1日 至 令和2年8月31日)
売上高	4,305	4,412
売上原価	3,483	3,682
売上総利益	821	730
販売費及び一般管理費	1,235	1,242
営業損失(△)	△413	△512
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	36	40
その他	3	6
営業外収益合計	40	46
営業外費用		
支払利息	5	4
その他	1	0
営業外費用合計	7	5
経常損失(△)	△380	△471
特別損失		
固定資産除却損	4	4
特別損失合計	4	4
税金等調整前四半期純損失(△)	△385	△475
法人税、住民税及び事業税	8	8
法人税等調整額	△46	△40
法人税等合計	△37	△32
四半期純損失(△)	△347	△443
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△347	△443

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和元年6月1日 至 令和元年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和2年6月1日 至 令和2年8月31日)
四半期純損失(△)	△347	△443
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	44	4
その他の包括利益合計	44	4
四半期包括利益	△303	△439
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△303	△439
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(会計上の見積りにおける新型コロナウイルス感染症の影響について)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

当社グループでは、工事進行基準売上等の会計上の見積りについて、財務諸表作成時において入手可能な情報に基づき実施しております。

新型コロナウイルス感染症による当社グループ事業への影響は、インフラを担う企業として、従業員の感染リスクを低減しつつ、工場の生産活動や施工中の工事等は継続しており、受注残案件の状況から短期的には大きな影響はないと仮定したうえで、会計上の見積りを行っております。しかし、今後の新型コロナウイルス感染症の拡大の状況等により翌四半期連結会計期間以降の連結財務諸表に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自 令和元年6月1日 至 令和元年8月31日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	環境事業	パルプ 事業	メンテナ ンス事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,111	1,541	652	4,305	—	4,305
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5	57	2	65	△65	—
計	2,117	1,598	654	4,370	△65	4,305
セグメント損失(△)	△125	△69	△217	△412	△0	△413

(注) 1 セグメント損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 令和2年6月1日 至 令和2年8月31日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	環境事業	パルプ 事業	メンテナ ンス事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,824	1,709	879	4,412	—	4,412
セグメント間の内部売上高 又は振替高	18	64	1	85	△85	—
計	1,843	1,773	880	4,497	△85	4,412
セグメント損失(△)	△332	△1	△180	△514	2	△512

(注) 1 セグメント損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。